

先生のための 「冬の経済教室」 in 東京 — 授業に役立つ経済学 —

学校の授業で経済を教えるうえで役に立つ考え方や知識を学ぶ講座です。

今回は、授業に役立つ経済学の考え方を取りあげ、その内容を、日本を代表する経済学者が分かりやすく解説し、先生方が授業で使うことのできる教材を提供します。



日時: 2016年1月23日(土)

14:30~16:30 (受付開始 14:00~)

場所: LMJ 東京研修センター 東京都文京区本郷 1-11-14 小倉ビル 3階

●JR 総武・中央線「水道橋」駅東口より徒歩 6分

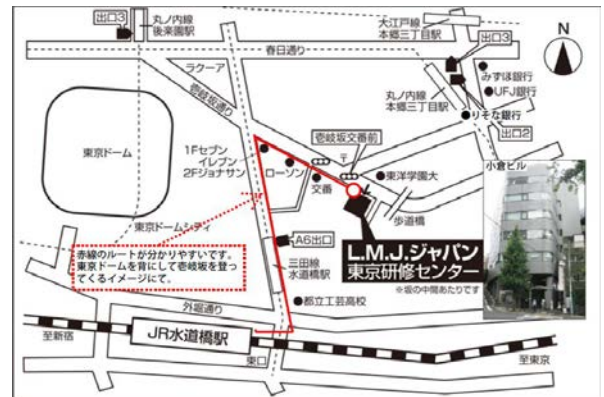
<http://www.lmj-japan.co.jp/kaigishitu/08-1/>

参加費: 無料

講師: 宮尾尊弘

(経済教育ネットワーク理事、筑波大学名誉教授、カリフォルニア大学・南カリフォルニア大学客員教授)

参考 「シンプル経済教室」 <https://sites.google.com/site/econeduvideo/>



共催: 株式会社日本取引所グループ(東京証券取引所)

テーマ: 「次期学習指導要領を先取りする: 学習のあり方と公共経済学の教え方」

目的: 今からクラスで教える際に役立つアイデアと教材を提供するとともに、取り組みが始まっている次期学習指導要領のポイントである「主体的に学ぶ態度と問題解決型の能力の育成」および必須科目となる『公共』に関係する分野である公共経済学を教える上で有益な内容。アメリカの主要大学で試した教え方と、その評価に基づく具体的な例を中心に説明。

プログラム: 第1部 「学習のあり方: 主体的に学ぶ態度と課題解決型の能力の育成」

(カリフォルニアの2つの大学で試した結果: 中高でも応用可能な方法)

- 1-1: 「イシュー」〈論点〉から始める教え方
- 1-2: 「情報リテラシー」の育成の重要性
- 1-3: 生徒どうしの対話・討論の促進
- 1-4: 努力と進歩の評価とフィードバック

質疑応答

第2部: 「公共経済学を教える方法」

(クラス実験を中心とした教授法: 中高でも利用できる教材の提供)

- 2-1: クラスで「公共」や「協力」の概念を教える問題点
- 2-2: 簡単な「じゃんけんゲーム」による準備
- 2-3: より現実的な「公共財ゲーム」の実施方法
- 2-4: 結果の議論による「公共」と「協力」の意味の理解

質疑応答

第3部: 高校授業現場から、実践にあたってのコメント

金子幹夫(神奈川県立平塚農業高等学校 初声(はっせ)分校)

第4部: 参加者全員による意見交流 (今後の課題などを議論)

参加申し込み: 経済教育ネットワーク 京都分室 宛て FAX 075-406-9107

所属 _____

氏名 _____

連絡先(e-mail, 電話番号) _____ を記入の上、この用紙を FAX 下さい。

または <http://www.econ-edu.net/announcement/>よりフォームにてお申し込みください